



令和3年（2021年）2月の議会・政務活動レポート

[2月] 緊急事態宣言解除要請 / 2月定例会

1月14日から兵庫県下に発令・延長中であった緊急事態宣言も、2月末での解除を政府に要請することに決まりました。医療従事者等のコロナ関連業務の従事者の皆様や県民の皆様のご尽力のお陰と感謝申し上げます。ワクチン接種も始まりました。疲弊した医療機関や介護・福祉施設等の機能回復を図り、地域の経済活動や社会活動等の本格的な再開を目指さねばなりません。

◆ 議会活動・政務活動報告

村岡まゆこの主な議会での活動や政務活動について、解説や総括を含めてご報告致します。



【政務】2/8 酒米日本酒振興議連でJA団体からの要望を受理



【政務】2/10 会派の政調理事会で一般質問の趣旨説明（県庁）



【議会】2/17 令和3年2月第353回定例会の開会（県議会）

【議会】2/1・2/10・2/17・2/22 議会運営委員会

2/1の議会運営委員会では、災害等により常任委員会をオンライン会議で開催した場合に想定される様々な事例のデモンストレーションを行いました。出席の扱いや表決等で様々な課題が指摘されました。

【議会】2/12 総務常任委員会

「地方分権の推進」についての調査では、国家戦略特区の県内認定事例として、農振法の特例を活用して農用区域内に農家レストラン（農業用施設扱い）を設置する「地域農畜産物利用促進事業」の事例紹介がありました（※三木市の事：例細川町で野菜栽培とカフェを営まれているbirica-ベリカ-さん）。



（解説）特区制度は遠い世界の話ではなく、身近なところでも先進的に活用されており、地域の課題解決の手法の一つとして期待できると思います。

【議会】2/15 まちづくり審議会

県の諮問機関で、私は議会から委員として派遣されています。今回はオンラインで出席し、まちづくり基本方針の改定などについて、社会の潮流の変化を踏まえ改定に向けた論点を整理しながら協議しました。

【議会】2/17～3/24 令和3年2月第353回定例会

開会日には令和3年度当初予算等の議案が上程され、令和2年度補正予算が先行して可決されました。代表質問や一般質問を経て予算特別委員会が設置され、新年度予算の審議が行われます。

【議会】2/25 一般質問に登壇

2月定例会で、三木市内で予定されている大規模な県事業を中心に、防災や企業誘致等について6項目6問の一般質問を行いました。知事答弁を含め詳細については、別途改めてご報告致します。



（解説）一般質問の様子は県議会HPのインターネット録画でご覧頂けます。

◆ 総括 ◆ 令和3年度当初予算案は、今夏に勇退を表明されている井戸知事にとって最後の予算編成です。また、コロナ禍の影響が続く中での大変厳しい予算編成でもあり、今後10年にわたる財政への影響も考慮し、県議会としても例年以上に心して審議を行う必要があります。

◆ 県政報告

兵庫県が現在展開している取り組みや施策について、主なものをご報告いたします。

■ 2/17 令和2年度補正予算成立：補正額2279億1400万円【予算】

国の令和2年度第3次補正予算を活用し、医療提供体制確保、感染予防対策、地域経済への支援策等のための補正予算が可決されました（必要な県一般財源は、国からの特別交付金により対応）。

- ①【**コロナ関連**】時短営業要請の協力飲食店等への協力金を支給（900億4500万円）
- ②【**山田錦**】令和2年産酒米を他用途利用向け販売した場合の価格差を支援（4100万円）、直売所と連携し県産酒米100%を原料にした日本酒購入について金券を配布（5300万円）
→**反映** 酒米日本酒振興議連や北播磨地域選出県議らとの要望活動を実施。
- ③【**防災**】防災人材育成拠点として**広域防災センターに宿泊施設を建設**（7億8600万円）
→**反映** 防災士資格を取得して知見を深め、平成31年2月定例会の一般質問でも要望を展開。

■ 2/17 令和3年度当初予算案上程：一般会計2兆7304億円/総額4兆6068億円【予算】

コロナ禍もあり、前年比7348億円増の一般会計及び総会計はともに史上最大の規模となりました。

- ①【**ゴルフ**】（新）**欧州・豪州向けゴルフツーリズムの造成**・販売促進（600万円）
→**反映** 平成30年2月定例会の一般質問や平成30年度決算特別委員会で質問・要望を展開。
- ②【**日本酒**】ひょうごの酒を海外にPRするため国内外の展示会等への出展を支援（750万円）
- ③【**三木金物**】ブランド力強化のため産地組合等が行う販路拡大や人材育成等を支援（3888万円）
- ④【**鳥獣害**】総合射撃場として日本最大級の**兵庫県立総合射撃場（仮称）の整備**（16億3500万円）
→**反映** 令和3年2月定例会の一般質問（2/25）でも取り上げ、取組について質問。
- ⑤【**企業誘致**】（新）次世代型産業団地の整備を**ひょうご情報公園都市**で検討（1億9700万円）
→**反映** 平成30年度予算特別委員会や平成31年2月定例会等で、度々質問・要望。
- ⑥【**神戸電鉄**】踏切遮断器やレール交換などの鉄道軌道安全輸送設備の整備（7123万円）

■ 北播磨県民局令和3年度の主な取組み（抜粋）

令和3年度は、「元気で豊かな北播磨の創出」をテーマに地域創生推進事業に取り組みます。

- ①【**山田錦**】（新）**北播磨の特産日本酒の国際評価を高める**ためのPRを支援する事業（400万円）
→**反映** 本年度実現した令和2年産酒米対策の需要開拓事業が、県民局でも進化して展開。
- ②【**山田錦**】（新）**北播磨「山田錦」語り部**の活動支援（260万円）
- ③【**観光**】北播磨の地域資源をつなぐサイクリングとフットパスを推進する事業（800万円）
- ④【**産業**】（拡）**にっぽんの宝プロジェクト**への支援など地場産業活性化支援事業（320万円）

◆ **総括** ◆ 広域防災センターの宿泊施設建設、北播磨産山田錦の支援や国際的評価を高めるためのPR、ゴルフツーリズム推進、兵庫情報公園都市次期整備等、県市協調で県に訴えてきた政策が、令和3年度予算で計上され反映されています。議案内容の着実な審議を行います。

◆ 問題提起・政策提言・課題抽出

村岡まゆこが考える問題、課題、政策等々を、幅広くご紹介致します。

災害対応

スマホやタブレット端末等のアプリを使った健康管理：感染症・避難所対応

感染症流行時期や災害時の避難所運営においては、健康管理アプリやウェアラブル端末の活用により感染者や避難者の健康状態の把握ができれば、保健師や医療従事者等の限られた人材への負担を軽減し、各種対応の合理化が図れると考えます。

三木金物

防災ベンチの設置：三木金物×防災×まちづくり

公園や学校施設のグラウンドの一角に、非常時に「かまど」として使える防災ベンチ（耐火仕様）を設置したいです。住民や子どもたちが三木金物を使って自作することで、地場産業振興、郷土愛や防災意識、住民同士の連帯感の醸成に繋がると考えます。